

資料2

令和元年度実施状況調査結果(現行計画に則した調査)

【選択肢】
 継: 昨年から継続して実施した。
 始: 新たに始めた。
 検: 実施の検討をした。
 未: 未実施。
 終: 終了・廃止した。

【選択肢】
 S: 特に良い成果を得た。
 A: 良い成果を得た。
 B: 期待した成果を得られなかった。
 C: 検討中、未実施、終了のため評価なし。

【選択肢】
 S': 特に積極的に取り組む。
 A': 成果上昇をめざし継続実施。
 B': 現状維持のため継続実施。
 C': 縮小する。

基本理念	基本目標	施策	施策の展開	取組	担当課	実施段階	令和元年度の実施内容	実績値	担当課評価	事業名称 サービス名称	次年度以降 の方向性	委員会評価
笑顔あふれる安心して暮らせる保健福祉都市をめざして	基本目標1 安全・安心に住み続けられる環境づくり	【重点施策】 (1)健康づくり・生きがいづくりの充実	①健康寿命を延ばす健康づくり・介護予防の推進	1 介護予防を推進するために、介護予防教室(はつらつ元気アップ教室)を開催し、栄養、口腔ケアなどをテーマにした講演を行います。【高齢者支援課】	高齢者支援課	継: 昨年から継続して実施した。	介護予防の普及啓発を図るため、歯科予防講座を行った。	公募型歯科予防講座「シニアのためのビューティーケア」参加者28人	A: 良い成果を得た。	介護予防普及啓発事業(歯科予防講座)	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
			2 一人ひとりの口腔ケアに関する知識と関心を深めるため、歯科に関する介護予防講座(シニアのためのビューティーケア)を開催します。【高齢者支援課】	高齢者支援課	継: 昨年から継続して実施した。	介護予防の普及啓発を図るため、歯科予防講座を行った。	公募型歯科予防講座「シニアのためのビューティーケア」参加者28人	A: 良い成果を得た。	介護予防普及啓発事業(歯科予防講座)	A': 成果上昇をめざし継続実施。		
			3 誰もが健康を実感しながら暮らすことができるよう、各種健(検)診、健康教育、健康相談、地域イキイキ元気づくり事業、ふれあいウォーク、食育などの様々な健康づくり事業を実施します。【健康課】	健康課	継: 昨年から継続して実施した。	【健(検)診事業】 ・特定健康診査: 6月1日～9月30日 ・後期高齢者健診: 7月1日～10月31日 ・生活習慣病予防健診: 8月1日～10月31日 ・生活保護受給者健診: 8月～10月31日 ・結核検診: 6月1日～10月31日 ・肝炎検診: 6月1日～10月31日 ・がん検診(胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん、前立腺がん): 9月1日～2月28日 【健康づくり事業】 ・健康教育(食育事業含)、健康相談(食育事業含)、地域イキイキ元気づくり事業・50会場、 ・健康づくり市民推進委員活動(地区活動及びブロック活動)及びめざせ健康あきる野市推進会議活動(ふれあいウォーク、21PR活動、出前講座など) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から3月実施予定分の健康相談及びふれあいウォーク(3班合同事業)を中止した。	【健(検)診事業】 ・特定健康診査 対象者14,880人、受診者7,554人、受診率50.77%、後期高齢者健診対象者11,328人、受診者5,903件、受診率52.11% ・特定疾病検診受診者数 骨粗しょう症検診122人、結核検診9,014人、胃がん検診4,948人、肺がん検診5,589人、大腸がん検診11,219人、乳がん検診3,069人、子宮がん検診2,687人、前立腺がん検診4,665人、肝炎ウイルス検診861人、生活習慣病予防健診73人 【健康づくり事業】 ・健康教育 53回 参加者1,500人(食育事業)、 ・健康相談 234回 参加者772回(食育事業)、 ・地域イキイキ元気づくり事業・50会場、 延べ実施回数 428回、一般参加者6,035人 推進委員参加者 829人、 ・ふれあいウォーク・実施回数6回、一般参加者 延べ357人	A: 良い成果を得た。	・各種健(検)診事業 ・健康増進法に基づく事業 ・健康増進計画「めざせ健康あきる野21(第二次)」	A': 成果上昇をめざし継続実施。		
			4 健康づくり事業や各種健(検)診を周知し、市民が積極的に参加・受診するよう普及啓発を行います。【健康課】	健康課	継: 昨年から継続して実施した。	市広報、ホームページ、メール配信での周知。また公共施設や各医療機関等にポスターの掲示及び健(検)診受診の個別勧奨を行った。また、健康教育や健康相談において、健診(検)の重要性を周知し、積極的に受診するよう促した。	-	A: 良い成果を得た。	・健康増進法に関する事業 ・健康増進計画「めざせ健康あきる野21(第二次)」	B': 現状維持のため継続実施。		

基本理念	基本目標	施策の展開	取組	担当課	実施段階	令和元年度の実施内容	実績値	担当課評価	事業名称 サービス名称	次年度以降 の方向性	委員会評価
		②社会参加・生きがいづくりの推進	5 障がい者一人ひとりの意思や状況に応じた社会参加を支援する障がい者就労・生活支援センターの運営を、専門的な機関に委託し実施します。【障がい者支援課】	障がい者支援課	継: 昨年から継続して実施した。	特定非営利活動法人秋川流域障害者支援ネットワークに委託し、障がい者就労・生活支援センター事業を実施。就労支援や生活相談等を実施した。	相談件数 電話2895件 来訪833件 訪問378件 来所者数855人 障がい者職場体験実習 実習人数17人	A: 良い成果を得た。	障がい者就労・生活支援センター運営事業	B': 現状維持のため継続実施。	
	6 高齢者の社会参加、生きがいづくりを推進するとともに、参加者自身の介護予防につながるよう、介護支援ポイント登録者のボランティア活動状況に応じた交付金を交付します。【高齢者支援課】		高齢者支援課	継: 昨年から継続して実施した。	高齢者がボランティア活動を通して地域に貢献することを奨励及び支援することで、高齢者自らの健康の維持を促進するとともに、生き生きと元気に暮らすことができる地域社会をつくることを目的に介護支援ポイント制度を実施した。(社会福祉協議会に委託)	介護支援ポイント事業 登録者37人	A: 良い成果を得た。	介護支援ボランティアポイント事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。		
	7 高齢者の社会参加、生きがいづくりを推進する高齢者クラブの活動に対し、事業費の一部を補助します。【高齢者支援課】		高齢者支援課	継: 昨年から継続して実施した。	老後の生活を健全で豊かなものにし、高齢者の福祉の増進を目的として活動している高齢者クラブに運営費を助成した。	平成31年4月1日現在 クラブ数 46クラブ 会員数 3,169人(補助対象人数3,167人)	A: 良い成果を得た。	高齢者クラブ活動支援事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。		
	8 誰もが受診しやすい各種健(検)診、参加しやすい健康づくり事業を実施します。【健康課】		健康課	継: 昨年から継続して実施した。	【健(検)診事業】 ・特定健康診査: 6月1日～9月30日 ・後期高齢者健診: 7月1日～10月31日 ・生活習慣病予防健診: 8月1日～10月31日 ・生活保護受給者健診: 8月～10月31日 ・結核検診: 6月1日～10月31日 ・肝炎検診: 6月1日～10月31日 ・がん検診(胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん、前立腺がん): 9月1日～2月28日 【健康づくり事業】 ・健康教育(食育事業含)、健康相談(食育事業含)、地域イキイキ元気づくり事業・50会場、 ・健康づくり市民推進委員活動(地区活動及びブロック活動)及びめざせ健康あきる野市推進会議活動(ふれあいウォーク、21PRR活動、出前講座など) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から3月実施予定分の健康相談及びふれあいウォーク(3班合同事業)を中止した。	【健(検)診事業】 ・特定健康診査 対象者14,880人、受診者7,554人、受診率50.77%、後期高齢者健診対象者11,328人、受診者5,903件、受診率52.11% ・特定疾病検診受診者数 骨粗しょう症検診122人、結核検診9,014人、胃がん検診4,948人、肺がん検診5,589人、大腸がん検診11,219人、乳がん検診3,069人、子宮がん検診2,687人、前立腺がん検診4,665人、肝炎ウイルス検診861人、生活習慣病予防健診73人 【健康づくり事業】 ・健康教育 53回 参加者1,500人(食育事業)、 ・健康相談 234回 参加者772回(食育事業)、 ・地域イキイキ元気づくり事業・50会場、 延べ実施回数 428回、一般参加者6,035人 推進委員参加者 829人、 ・ふれあいウォーク・実施回数6回、一般参加者 延べ357人	A: 良い成果を得た。	・各種健(検)診事業 ・健康増進法に基づく事業 ・健康増進計画「めざせ健康あきる野21(第二次)」	A': 成果上昇をめざし継続実施。		
	9 市民が習得した知識・技術を生かした社会参加や生きがいづくりの推進に向けて、市民解説員活動、ITボランティア活動の場の拡大と充実を図ります。【生涯学習推進課】		生涯学習推進課	継: 昨年から継続して実施した。	市民解説員が習得した知識・技術を活かせるよう、市内探訪を始め、定期解説や派遣解説活動等を行う機会を提供した。また、ITボランティアを講師として、市民を対象としたパソコンQ&A講習を開催した。	①市民解説員養成事業、市民解説員事業 ・令和元年度市民カレッジ修了者3人、市民解説員62人(令和元年度活動希望者) ・市内探訪 7回開催、市民解説員36人、参加者延119人 ・定期解説 市民解説員62人、参加者延463人 ・派遣解説活動 38回実施、市民解説員148人、参加者延1,643人 ・市民解説員発表会 口頭発表者7人及び1団体、参加者延452人 ②ITボランティア事業 パソコンQ&A講習 20回実施、ボランティア延58人、参加者延55人	A: 良い成果を得た。	市民解説員事業 市民解説員養成事業 ITボランティア事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。		
	10 スポーツ推進委員、体育協会及び総合型地域スポーツクラブと連携を図り、生涯にわたり身近にスポーツを親しむことができるよう、スポーツ活動を支援する環境を整備します。【スポーツ推進課】		スポーツ推進課	継: 昨年から継続して実施した。	スポーツ推進委員等と連携して、市民が気軽に参加できる教室やイベントの実施	総合スポーツ祭(参加者 5,151人) 体育の日スポーツフェスティバル(参加者 1,497人) ヘルシーウォーキング(参加者 13人) ポッチャあきる野大会(参加者 49人)	A: 良い成果を得た。	あきる野市総合スポーツ祭 体育の日スポーツフェスティバル ヘルシーウォーキング ポッチャあきる野大会	A': 成果上昇をめざし継続実施。		

基本理念	基本目標	施策の展開	取組	担当課	実施段階	令和元年度の実施内容	実績値	担当課評価	事業名称 サービス名称	次年度以降 の方向性	委員会評価
	(2) 医療と介護の提供体制の充実	① 地域における医療体制の充実	11 地域の医師会などの協力のもと、地域医療の中核機関である阿伎留医療センターとの連携を推進し、市民が安心して暮らせる医療体制の充実に努めます。【健康課】	健康課	継: 昨年から継続して実施した。	公立阿伎留医療センターが設置する地域医療連携センターを中心とした地域の医療機関と阿伎留医療センターの連携の取組について、役割分担とその連携を支援した。	-	A: 良い成果を得た。	・地域医療の中核病院として連携を図る。	B': 現状維持のため継続実施。	
			12 市民が安心できる医療体制の充実を図るために、地区医師会及び歯科医師会などと連携し、休日・準夜初期救急などの情報提供を行います。【健康課】	健康課	継: 昨年から継続して実施した。	地区医師会及び歯科医師会と連携し、休日・準夜初期救急事業を実施し、市民に情報提供を行った。	-	A: 良い成果を得た。	・休日・準夜初期救急などの情報提供を行う。	B': 現状維持のため継続実施。	
			13 市民が安心して医療機関に相談できるよう、健康教育の場などで、かかりつけ医、かかりつけ歯科医とともに、かかりつけ薬剤師・薬局を持つことの重要性の周知を行います。【健康課】	健康課	継: 昨年から継続して実施した。	健康診査事業、予防接種事業及び健康づくり事業など、健康増進事業等において、かかりつけ医・かかりつけ歯科医及びかかりつけ薬剤師を持つことの重要性の周知を行った。	-	A: 良い成果を得た。	・健康増進法及び健康増進計画「めざせ健康あきる野21(第二次)」	B': 現状維持のため継続実施。	
		② 医療と介護の連携の推進	14 精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムを構築するための協議の場を設置します。【障がい者支援課】	障がい者支援課	未: 未実施。	新たな協議の場は未実施。本事業の地域移行支援については、既に関係機関でケース毎に実施している。また、保健所主体での協議の場も開催されている。市独自の協議の場の設置については、保健所、市内の精神科の病院などを想定しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や関係機関の様子を見ながら、どの様に構築していくかを課内で検討する。	-	C: 検討中、未実施、終了のため評価なし。	-	B': 現状維持のため継続実施。	
			15 地域包括ケアシステムの構築・推進に向け、在宅医療と介護の連携を支援する医療・介護地域連携支援センターの活動を推進します。【高齢者支援課】	高齢者支援課	継: 昨年から継続して実施した。	住み慣れた地域で継続して生活できるよう、居宅における医療を提供する医療機関、介護サービス事業者その他の関係者の連携を推進する拠点を設置し、在宅医療と介護を一体的に提供できるように努めた。在宅医療と介護の連携事業は、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生活していくために、医療、介護、予防など多様な生活支援サービスが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの構築において重要な役割を担っているため、継続して重点的に在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討、医療・介護関係者の情報共有の支援、医療・介護関係者の研修等を実施した。(あきる野市医師会に委託)	検討委員会開催回数 3回 事例検討会 1回 市民公開講座 1回	A: 良い成果を得た。	在宅医療・介護連携推進事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
			16 認知症の早期発見、医療・介護などの適切な支援へつなげる体制を構築するために、地域包括支援センターに設置の認知症初期集中支援チームによる認知症初期集中支援チーム員会議(チーム医を含める)を定期的実施します。【高齢者支援課】	高齢者支援課	継: 昨年から継続して実施した。	平成30年度から認知症初期集中支援チームがスタートした。認知症を早期に発見し、医療など適切な支援へつなげる体制を構築した。	認知症支援初期集中支援チーム員会議開催回数 12回	A: 良い成果を得た。	認知症初期集中支援チーム運営事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	

基本理念	基本目標	施策の展開	取組	担当課	実施段階	令和元年度の実施内容	実績値	担当課評価	事業名称 サービス名称	次年度以降 の方向性	委員会評価		
	(3) 防災・防犯体制の充実	① 防災・防犯対策を通じた地域のつながりの強化	17	警察署や学校などの関係機関と子どもの危機に係る情報の共有・連携を図るとともに、子どもの危機管理会議において、その対策について協議します。【子ども政策課】	子ども政策課	継：昨年から継続して実施した。	関係各課の職員で組織する子どもの危機管理会議において、危機の発生又は発生の恐れのある事案に関する情報の共有を図るとともに、その対策について協議した。	子どもの危機管理会議 1回	A: 良い成果を得た。	子どもの危機管理事業	B': 現状維持のため継続実施。		
			18	消防団、防災・安心地域委員会及び町内会・自治会の自主防災組織が実施する防災活動を支援します。【地域防災課】	地域防災課	継：昨年から継続して実施した。	自主防災組織が実施する防災訓練の際に、炊き出し訓練用のアルファ化米を提供した。 防災・安心地域委員会本部の会議に出席し、助言などを行うとともに、事業実施の際には必要な支援を行った。 地域の防災組織などからの要請に基づき、消防団員が訓練に参加し、必要な支援を行った。	自主防災組防災訓練への非常食提供 37団体 4,350食 防災・安心地域委員会 事業支援 4回 会議出席 11回 消防団による防災訓練支援 21地域	A: 良い成果を得た。	地域防災活動支援事業	B': 現状維持のため継続実施。		
			19	警察署や防犯協会、町内会・自治会などの各種団体と連携し、地域の防犯向上を図ります。また、防災行政無線やメール配信サービスなど様々な手段により、特殊詐欺などの犯罪に巻き込まれないよう、情報提供の充実を図ります。【地域防災課】	地域防災課	継：昨年から継続して実施した。	防犯協会、警察署と連携し、あきる野夏祭りや産業祭等で啓発活動を行った。 振り込め詐欺の予防については、子どもの見守りのお願いとともに、小学校の下校時刻に合わせて防災行政無線により啓発を行った。 高齢者を対象に振り込め詐欺等の特殊詐欺対策として、自動通話録音機を貸与した。 小学生の下校の時刻に合わせて行う、見守り放送の中で、振り込め詐欺の注意喚起を合わせて行っている。また、振り込め詐欺の電話が集中するなど警察署から注意喚起放送の依頼があったときに、放送を行っている。	・防災行政無線による注意喚起: 25回 ・防犯メール配信による注意喚起: 36回 ・自動通話録音機貸与数: 270台 ・注意喚起放送回数: 198回	A: 良い成果を得た。	自動通話録音機貸与事業 防災無線管理運営事業	B': 現状維持のため継続実施。		
		(4) 人にやさしいまちづくり	① ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進	20	福祉のまちづくりに関する条例委任事務について、担当課とともに指導・助言を継続的にを行います。【生活福祉課】	福祉総務課	継：昨年から継続して実施した。	東京都からの受託事業として、民間施設等の建築物に対し、施設営繕課と連携して、福祉のまちづくり条例に基づく各種基準の適合についての相談や指導、検査等を行った。	届出: 3件 適合証交付: 0件	A: 良い成果を得た。	東京都福祉のまちづくり条例関連事務	B': 現状維持のため継続実施。	
				21	全ての人が安全で自由に移動できる歩行者空間としての道路機能を整備推進するため、現在の構造令に合わない、又は老朽化した道路施設の補修、整備を進めます。【建設課】	建設課	継：昨年から継続して実施した。	道路整備に合わせ、歩道の段差解消等を実施した。	-	C: 検討中、未実施、終了のため評価なし。	道路維持補修事業	B': 現状維持のため継続実施。	
				22	都市計画マスタープランにおける福祉のまちづくり方針に基づき、道路や施設のバリアフリー化や身近な公園の整備などに取り組みます。【都市計画課】	都市計画課	継：昨年から継続して実施した。	ユニバーサルデザインのまちづくりを推進するにあたり、先進地の事例研究等、情報収集に努め調査を行った。	-	A: 良い成果を得た。		B': 現状維持のため継続実施。	
				23	公共施設を訪れる全ての人々が利用しやすい施設とするため、「都立建築物のユニバーサルデザイン導入ガイドライン」に基づく工事計画策定に取り組みます。【施設を所管する課】	集約	継：昨年から継続して実施した。	東京都補助金を活用してトイレの洋式化改修工事を実施した。 今後も、施設の補修等を行う際にはガイドラインに沿った工事計画の策定に取り組む。	トイレの洋式化改修工事 33施設50基	A: 良い成果を得た。	ユニバーサルデザインのまちづくり緊急推進事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	

基本理念	基本目標	施策	施策の展開	取組	担当課	実施段階	令和元年度の実施内容	実績値	担当課評価	事業名称 サービス名称	次年度以降 の方向性	委員会評価	
笑顔あふれる安心して暮らせる保健福祉都市をめざして	基本目標2 お互いに支え合い、助け合う地域づくり	【重点施策】 (1) 地域力の強化	① 地域が主体の活動の推進	24	生活支援コーディネーター及び地域ぐるみの支え合い推進協議体により、地域での自主グループの創出を支援します。【高齢者支援課】	高齢者支援課	継: 昨年からの継続して実施した。	地域ぐるみ支え合い推進協議体にて、圏域別で必要としている支援についてや、自主グループの創出についての支援方針等を検討した。	協議体開催回数 4回	C: 検討中、未実施、終了のため評価なし。	生活支援体制整備事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
				25	地域住民の防災活動に参加する意識の向上を図るため、防災・安心地域委員会や町内会・自治会などの自主防災組織の活動を支援します。【地域防災課】	地域防災課	継: 昨年からの継続して実施した。	防災・安心地域委員会本部の会議に出席し、助言などを行うとともに、事業実施の際には必要な支援を行った。令和元年12月に、町内会・自治会連合会及び防災・安心地域委員会が実施した「避難所開設・運営訓練」の準備及び実施について、支援を行った。	防災・安心地域委員会 事業支援 4回 会議出席 11回	A: 良い成果を得た。	自主防災組織支援事業	B': 現状維持のため継続実施。	
				26	町内会・自治会が実施する、地域の課題を解決し、住みよいまちづくりを進める事業への補助などを行います。【地域防災課】	地域防災課	継: 昨年からの継続して実施した。	コミュニティの中心的な役割を果たしている町内会・自治会が実施する住民同士の親睦や生活環境の維持等の活動、高齢者の見守り、こどもの安全対策等の取組みなど、地域の課題を解決し、住みよいまちづくりを進める事業に必要な経費の一部を交付した。また活動資金の貸付を行った。	(実績) コミュニティ事業交付金29件 3,814,000円、町内会・自治会活動支援資金貸付金1件2,000,000円	A: 良い成果を得た。		B': 現状維持のため継続実施。	

基本理念	基本目標	施策の展開	取組	担当課	実施段階	令和元年度の実施内容	実績値	担当課評価	事業名称 サービス名称	次年度以降 の方向性	委員会評価
		② 支え合う地域づくりの推進	27 社会福祉協議会に対する補助を行い、活動を支援するとともに、社会福祉協議会の活動について情報を共有・提供します。【生活福祉課】	福祉総務課	継：昨年から継続して実施した。	社会福祉協議会が実施する地域福祉事業、在宅福祉事業、ボランティア活動推進事業及び法人運営事業について、「あきる野市社会福祉法人に対する助成の手続きに関する条例」に基づき、経費の一部について補助を行った。また、社会福祉協議会の活動を市ホームページに掲載して周知を図った。	社会福祉協議会補助金 74,000,000円	A: 良い成果を得た。	あきる野市社会福祉協議会助成事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
	28 子育てを地域で支えるファミリー・サポート・センターの会員登録説明会、提供会員養成講習会を実施します。【子ども家庭支援センター】		子ども家庭支援センター	継：昨年から継続して実施した。	子育てを地域で支えるファミリーサポートセンター事業において、地域の中で子どもたちが健やかに育っていきけるよう育児の援助を希望する依頼会員には登録説明会を行い、育児の援助をしたい提供会員には養成講習会を実施し、地域での助け合いを支援した。依頼会員、提供会員とも常時募集を図った。	・事業説明会 2回実施 参加人数8人 ・サービス提供会員養成講習会 1回実施 参加人数19人 ・提供会員フォローアップ講習会 1回開催 参加人数10人	A: 良い成果を得た。	ファミリー・サポート・センター事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。		
	29 障がい者が地域社会の一員として参加できる地域づくりを推進するために、障がい者団体へ活動費の一部を補助します。【障がい者支援課】		障がい者支援課	継：昨年から継続して実施した。	あきる野市障がい者団体連絡協議会に対し、活動費の一部について助成金を交付した。	障がい者団体連絡協議会助成金485,000円	A: 良い成果を得た。	障害者団体連絡協議会助成事業	B': 現状維持のため継続実施。		
	30 生活支援コーディネーター及び地域ぐるみの支え合い推進協議体の支援により創出された自主グループに対し、補助金交付などの支援を行います。【高齢者支援課】		高齢者支援課	検：実施の検討をした。	あきる野市地域ぐるみの支え合い活動支援事業補助金交付要綱を制定した。自主グループの増加を目指す。	-	C: 検討中、未実施、終了のため評価なし。	地域ぐるみの支え合い活動支援事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。		
	31 地域住民の防災活動に参加する意識の向上を図るため、防災・安心地域委員会や町内会・自治会などの自主防災組織の活動を支援します。【地域防災課】		地域防災課	継：昨年から継続して実施した。	防災・安心地域委員会本部の会議に出席し、助言などを行うとともに、事業実施の際には必要な支援を行った。令和元年12月に、町内会・自治会連合会及び防災・安心地域委員会が実施した「避難所開設・運営訓練」の準備及び実施について、支援を行った。	防災・安心地域委員会 事業支援 4回 会議出席 11回	A: 良い成果を得た。	自主防災組織支援事業	B': 現状維持のため継続実施。		
	32 地域づくりを実践している町内会・自治会などが、円滑かつ自立した活動を行うために、町内会・自治会の運営への補助などを行います。【地域防災課】		地域防災課	継：昨年から継続して実施した。	コミュニティの中心的な役割を果たしている町内会・自治会に対し、運営費や会館の維持費、建設費等に対する補助を行った。	町内会・自治会連合会運営費補助金1件 3,173,400円 運営費補助金85件、 20,786,720円 町内会館・自治会館維持費 補助金85件4,590,000円、町内会館・自治会 館建設費等補助金5件6,933,000円、掲示板 建築費等補助金2件135,000円	A: 良い成果を得た。		B': 現状維持のため継続実施。		
	33 青少年委員と青少年健全育成地区委員会と協働で、健全育成のための事業を実施します。【生涯学習推進課】		生涯学習推進課	継：昨年から継続して実施した。	青少年委員及び青少年健全育成地区委員会との協働により、あいさつ標語カルタ大会、中学生主張大会を実施した。(実績) あいさつ標語カルタ大会 7月6日(土) 中学生主張大会 12月7日(土)	あいさつ標語カルタ大会 参加人数 174人 中学生主張大会 来場者 414人	A: 良い成果を得た。	カルタ大会 主張大会	B': 現状維持のため継続実施。		

基本理念	基本目標	施策の展開	取組	担当課	実施段階	令和元年度の実施内容	実績値	担当課評価	事業名称 サービス名称	次年度以降 の方向性	委員会評価
		①見守りネットワークの充実 (2)見守り体制の充実	34 民生委員・児童委員と民生委員協力員、ふれあい福祉委員やその他の地域の方が、心配な人を発見したときに連携して対応できる体制をつくります。【生活福祉課】	福祉総務課	継: 昨年から継続して実施した。	民生委員・児童委員と民生委員協力員で定期的に情報交換を行った。 心配な人を発見した時は、つなぎ役として連携を図った。	会長会: 11回	A: 良い成果を得た。	民生・児童委員関連事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
	35 子どもたちを見守り、成長を支えるために、地域子ども育成リーダー新規認定研修会を実施し、地域子ども育成リーダーを養成します。【子ども政策課】		子ども政策課	継: 昨年から継続して実施した。	地域の絆を深めるとともに、郷土愛を持った「あきる野っ子」を育てるため、大人たちの知識、経験などを生かして、それぞれの地域における子どもの安全・安心の確保と健全な育成を担うあきる野市地域子ども育成リーダーを養成した。	新規認定者数 20人(合計186人)	B: 期待した成果を得られなかった。	地域子ども育成リーダー事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。		
	36 防災・安心地域委員会、新聞配達、郵便配達、ごみ収集及び乳酸菌飲料配達の事業者による高齢者の安否確認を含めた見守りを実施します。【高齢者支援課】		高齢者支援課	継: 昨年から継続して実施した。	防災・安心地域委員会との連携を図り、地域見守り事業を実施した。また、新聞配達、郵便配達、ごみ収集及び乳酸菌飲料配達の事業者の協力による高齢者の安否確認を含めた見守り事業を行った。	利用延世帯数 計363世帯 (令和2年3月31日現在)	A: 良い成果を得た。	高齢者見守り事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。		
	37 緊急通報機器などを活用し、家庭内で緊急事態に陥った高齢者の救援などを行います。【高齢者支援課】		高齢者支援課	継: 昨年から継続して実施した。	65歳以上の一人暮らし等の高齢者で、慢性疾患等のため常時注意が必要な方に、緊急通報機器を貸与し、生活の安全の確保を図った。	消防通報世帯数 2世帯 消防通報の協力員 3人 民間通報世帯数 113世帯	A: 良い成果を得た。	高齢者緊急通報システム事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。		
	38 保育園、幼稚園、民生委員・児童委員など子どもに関わる機関が情報交換や学習会などを通じて連携できる体制を構築します。【健康課】		健康課	継: 昨年から継続して実施した。	あきる野市子どもすくすく・のびのび学習会を実施した	あきる野市子どもすくすく・のびのび学習会 学習会2回 運営委員会4回	A: 良い成果を得た。	あきる野市子どもすくすく・のびのび学習会 めざせ健康あきる野21	B': 現状維持のため継続実施。		
	39 避難行動要支援者名簿を作成し、関係団体と連携して災害時の避難行動支援体制づくりに取り組みます。【地域防災課】		地域防災課	継: 昨年から継続して実施した。	災害対策基本法第49条の10に基づき作成した、避難行動要支援者名簿を令和元年12月に更新した。 なお、平時から支援機関等に情報提供し、避難時の支援体制を備えるため、当事者へ情報提供について意向確認を実施した。 これにより、同意者名簿の作成が進んでいる。 また、同意は得ているが、個人情報であることから、守秘義務や名簿の管理などについて検討している。なお、最終目標である個別支援計画作成については、担当部署の専門性を求める。	避難行動要支援者名簿登録人数 8,737人 同意者名簿登録人数 3,745人	B: 期待した成果を得られなかった。	避難行動要支援者支援事業	B': 現状維持のため継続実施。		

基本理念	基本目標	施策	施策の展開	取組	担当課	実施段階	令和元年度の実施内容	実績値	担当課評価	事業名称 サービス名称	次年度以降 の方向性	委員会評価
			②虐待防止、早期発見のための見守り活動と連携の強化	40 児童虐待の未然防止と早期発見に努め、関係機関との連携を強化するため、関係機関と定期的な情報共有を実施します。【子ども家庭支援センター】	子ども家庭支援センター	継: 昨年から継続して実施した。	関係機関との連携強化のため、定期的に情報共有の会議を行い、児童虐待の未然防止と早期発見を図り、適切な支援や見守りを行うため、要保護児童対策地域協議会での会議を実施した。	・関係機関とのケース会議 230回 ・立川児童相談所とのケースカンファレンス 7回 ・教育相談所等とのケースカンファレンス 12回 ・関係機関との連絡会 26回 ・要保護児童対策地域協議会代表者会議 2回 ・要保護児童対策地域協議会実務者会議 3回 ・個別ケース検討会議 22回	A: 良い成果を得た。	子育ての総合相談	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
				41 成年後見制度及び障害者虐待防止法の周知・啓発を行うとともに、虐待通報及び相談を受ける窓口として、障がい者虐待防止センターの運営を委託により実施します。【障がい者支援課】	障がい者支援課	継: 昨年から継続して実施した。	障がい者虐待防止センターの運営を社会福祉法人緑水会に委託し事業を実施した。	虐待通報への対応状況 コア会議の開催14回 訪問6回 来所相談2回 他機関通報5回	A: 良い成果を得た。	障がい者虐待防止センター運営事業	B': 現状維持のため継続実施。	
				42 高齢者虐待の防止、虐待を受けた高齢者を保護するために、高齢者虐待防止ネットワーク会議において、虐待事例の対応方法などについて検討します。【高齢者支援課】	高齢者支援課	継: 昨年から継続して実施した。	高齢者虐待防止ネットワーク会議を開催し、関係機関との連携の推進を図った。	開催回数2回	A: 良い成果を得た。	高齢者虐待防止ネットワーク会議	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
				43 成年後見制度推進機関の運営について業務委託をしている社会福祉協議会と連携し、成年後見制度の周知・啓発を行い、相談体制を整備します。【高齢者支援課】	福祉総務課	継: 昨年から継続して実施した。	成年後見制度推進機関(社会福祉協議会に委託)において、制度の周知・啓発のためにチラシを作成し市や社協の窓口等に設置して制度の周知・啓発を図った。また、制度の利用に関する相談対応や支援を実施した。相談体制の整備については継続して協議する。	成年後見利用者サポート: 相談対象者数118人、延べ対応件数894件 親族後見人等研修会: 2開催回137人参加 司法書士専門相談会: 6回開催、相談15件 成年後見活用あんしん生活創造事業: 198件	A: 良い成果を得た。	成年後見活用あんしん生活創造事業(委託) 成年後見制度推進事業(委託) 地域福祉権利擁護事業(社協の事業)	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
				44 乳幼児健康診査などで虐待の疑いのある子どもを発見するため、注意深く観察するとともに、訪問時に虐待の疑いのある子どもの発見に努めます。【健康課】	健康課	継: 昨年から継続して実施した。	こんにちは赤ちゃん訪問の実施や乳幼児健診の事前アンケートで健やか親子21に関する内容のアンケートを実施し、虐待の疑いのある子どもの発見に努めた。	新生児訪問・こんにちは赤ちゃん事業 出生数 483人 訪問者数474人 訪問率 98.1% 3~4か月児健康診査 受診者数476人 受診率 97.3% 1歳6か月児健康診査 受診者数491人 受診率101.4% 3歳児健康診査 受信者数 515人 受診率 95.7%	A: 良い成果を得た。	新生児訪問・こんにちは赤ちゃん訪問 3~4か月児健康診査 1歳6か月児健康診査 3歳児健康診査	B': 現状維持のため継続実施。	
				45 保育園、幼稚園、民生委員・児童委員など、子どもに関わる機関と学習会などを通じて連携して、虐待を早期発見するための体制を構築します。また、本市の関連部署(健康課、子ども家庭支援センター、障がい者支援課)が連携し、一丸となって対応する体制を整備します。【健康課】	健康課	継: 昨年から継続して実施した。	あきる野市子どもすくすく・のびのび学習会を実施した。 健康課、子ども家庭支援センター、障がい者支援課との連携会議を実施した。	あきる野市子どもすくすく・のびのび学習会 学習会2回 運営委員会4回 健康課、子ども家庭支援センター、障がい者支援課との連携会議 6回	A: 良い成果を得た。	新生児訪問 こんにちは赤ちゃん訪問	B': 現状維持のため継続実施。	

基本理念	基本目標	施策	施策の展開	取組	担当課	実施段階	令和元年度の実施内容	実績値	担当課評価	事業名称 サービス名称	次年度以降 の方向性	委員会評価
笑顔あふれる安心して暮らせる保健福祉都市をめざして	基本目標3 地域の暮らしを支える体制づくり	【重点施策】 (1) 包括的な相談支援体制の充実	① 複合的な課題に対応できる相談支援体制の確立	46	生活福祉課	始:新たに始めた。	市広報にひきこもり相談窓口に関する記事を掲載した。ひきこもりに関する相談に対応できるよう、相談員が研修を受講した。	ひきこもりに関する相談件数:20件	A: 良い成果を得た。	ひきこもり相談支援事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
				47	福祉総務課	検:実施の検討をした。	複合的な課題を抱える相談者に適切に支援するため、関係機関が連携できるよう個別に対応した。今後の連携体制についての検討を始めた。	-	C: 検討中、未実施、終了のため評価なし。	-	S': 特に積極的に取り組む。	
				48	障がい者支援課	継: 昨年から継続して実施した。	特定非営利活動法人秋川流域障害者支援ネットワークに委託し、障がい者就労・生活支援センター事業を実施。就労支援や生活相談等を実施した。	利用者448人 援助の状況 来所相談677件 電話相談2924件 訪問52件 関係機関連絡調整1472件 同行106件 カンファレンス112件 文書(電子メール外)44件 文書(電子メール)341件	A: 良い成果を得た。	障がい者就労・生活支援センター運営事業	B': 現状維持のため継続実施。	
				49	健康課 子ども家庭支援センター	継: 昨年から継続して実施した。	妊娠届の提出時に、保健師などが全数面接を行うとともに、妊娠20週前後で妊婦訪問を行うことで妊婦一人ひとりの状況を把握し、必要に応じて子ども家庭支援センター等と連携して支援を行った。また、妊娠期から産後、子育て期に至るまで切れ目のない支援体制を行うため、あきる野ルピア2階で利用者支援事業(基本型・母子保健型)を実施した。	利用者支援業(基本型)子育て総合窓口 相談件数 481件 利用者支援事業(母子保健型) 母子健康手帳の交付数 453件	A: 良い成果を得た。	子育てステーションこころの利用者支援事業	B': 現状維持のため継続実施。	
				50	健康課	始:新たに始めた。	・休養を十分に確保し、健康を維持することを目標に、健康教育や健康づくり活動の中で、心の健康増進についての啓発及び自殺予防を図る。また、健康問題を抱える人に対し、一人ひとりに寄り添い、必要な関係機関と連携をとって自殺予防の支援を行います。さらに、自死家族や自殺未遂者の悩みを受けとめ、必要に応じ関係機関に関する情報提供及び連携を行った。	・自殺対策計画策定業務 自殺対策推進協議会 年5回、自殺対策庁内連絡会 年3回 ・個別の相談において、自殺者及び自死遺族の相談業務を行った。	A: 良い成果を得た。	自殺対策事業	B': 現状維持のため継続実施。	

基本理念	基本目標	施策	施策の展開	取組	担当課	実施段階	令和元年度の実施内容	実績値	担当課評価	事業名称 サービス名称	次年度以降 の方向性	委員会評価
			②個別の課題に対応できる相談機能の強化									
			51	生活困窮者を早期に自立させることができる相談支援業務を行うために、就労準備支援事業を早期に実施します。【生活福祉課】	生活福祉課	検:実施の検討をした。	近隣自治体等から情報収集を行い、令和2年度からの実施に向けた調整、準備を行った。	-	C: 検討中、未実施、終了のため評価なし。	就労準備支援事業	S': 特に積極的に取り組む。	
			52	犯罪をした者などが、地域社会の一員として円滑に社会復帰することを支援するために、再犯防止推進計画の策定に取り組みます。【生活福祉課】	福祉総務課	検:実施の検討をした。	近隣自治体と保護司会に対し今後の方向性などについて情報収集を行った。	-	C: 検討中、未実施、終了のため評価なし。	再犯防止推進計画の策定検討	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
			53	ひとり親家庭の生活の安定などを図るために、就職に有利な資格の取得や能力開発の取組を支援するための給付金事業及び継続的に自立及び就労支援をするための自立支援プログラム策定事業を促進します。【子ども家庭支援センター】	子ども家庭支援センター	継: 昨年から継続して実施した。	ひとり親家庭の母等を対象に、生活の安定及び主体的な能力開発の取組に対し、高等職業訓練促進給付金及び自立支援教育訓練給付金を支給し、自立につながるよう支援を行った。	・高等職業訓練促進費等給付 7件 6,300,000円 ・自立支援教育訓練給付 1件 53,564円	A: 良い成果を得た。	母子家庭等自立支援給付金事業 母子・父子自立支援プログラム策定事業		
			54	切れ目のない子育て支援サービスを提供するために、利用者支援事業と子ども家庭支援センター、保育所などや小中学校、医療機関など関係機関との連携を強化します。【子ども家庭支援センター】	子ども家庭支援センター	継: 昨年から継続して実施した。	保護者からの子育てに関する様々な相談に対応できるよう、利用者支援事業の基本型、母子保健型(子育て世代包括支援センター)と子ども家庭支援センターなどの各関係機関窓口や事業間が相互に連携し、切れ目のない支援を推進した。	・相談件数 481件	A: 良い成果を得た。	利用者支援事業 子ども家庭支援センター事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
			55	児童虐待やDVに対応する専門の相談員を配置し、相談機能の強化を図ります。【子ども家庭支援センター】	子ども家庭支援センター	継: 昨年から継続して実施した。	児童虐待やDV等により、社会的・経済的に不安定な状況に置かれている家庭や女性等に対し、土曜日も含めた専門相談員による相談体制を構築し、対応に当たった。	・児童虐待相談受付件数 190件 ・DV相談件数 延72件	A: 良い成果を得た。	子育ての総合相談 母子・父子・女性相談	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
			56	精神障がいの方が退院後に地域で安定した生活を送れるよう支援するために、関係機関による協議の場を設置します。【障がい者支援課】	障がい者支援課	未: 未実施。	新たな協議の場は未実施。本事業の地域移行支援については、既に関係機関でケース毎に実施している。また、保健所主体での協議の場も開催されている。市独自の協議の場の設置については、保健所、市内の精神科の病院などを想定しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や関係機関の様子を見ながら、どの様に構築していくかを課内で検討する。	-	C: 検討中、未実施、終了のため評価なし。		B': 現状維持のため継続実施。	
			57	地域包括支援センターにおいて、介護保険や福祉サービス、虐待など、高齢者に関する相談について総合的に対応するため、相談員に研修を受講させるとともに、総合的な相談窓口としてPRを行います。【高齢者支援課】	高齢者支援課	継: 昨年から継続して実施した。	東京都等が主催する介護保険給付、虐待対応研修等を受講した。PRIについては、地域包括支援センターのチラシを新たに作り、関係機関へ配布した。	-	A: 良い成果を得た。	包括的支援事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
			58	健康に対する悩みを抱える人に対応できるよう、健康相談及び健康教育を実施します。【健康課】	健康課	継: 昨年から継続して実施した。	健康に対する悩みや問題の解決が図れるよう、健康相談及び健康教育を実施した。	・健康教育 53回 参加者1,500人 ・健康相談 234回 参加者772回	A: 良い成果を得た。	・健康増進法に基づく事業 ・健康増進計画「めざせ健康あきる野21(第二次)」	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
			59	安心して妊娠・出産・育児ができるよう、保健師、助産師、管理栄養士、歯科衛生士などの専門性を生かした支援を実施します。【健康課】	健康課	継: 昨年から継続して実施した。	ハッピーベビークラブ、育児相談、離乳食教室などを実施した。	ハッピーベビークラブ 平日コース 開催日数11日 受講者延べ数135人 土曜コース 開催日数 4日 受講者延べ数78人 育児相談 年間 990人 離乳食教室 4コース 開催日数23日 受講者延べ数197人 むし歯予防教室 開催日数 9回 受講者延べ数37人	A: 良い成果を得た。	母子保健事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	

基本理念	基本目標	施策の展開	取組	担当課	実施段階	令和元年度の実施内容	実績値	担当課評価	事業名称 サービス名称	次年度以降 の方向性	委員会評価
	(2) 適切なサービスを提供できる体制づくり	①保健福祉サービスの提供体制の強化	60 指導検査体制を構築するとともに、担当職員の研修受講を推進し、保健福祉サービスの質の確保を図ります。【生活福祉課】	福祉総務課	継：昨年から継続して実施した。	社会福祉法人、介護、障害及び保育事業者に対する指導検査を専門に所管する部署の体制整備に向けて、他市の情報収集や事業所管部署との協議・調整を行い、組織改正に伴う整備を行った。また、都の主催する研修を受講し、専門的な知識及び検査技術の習得を図った。	-	A: 良い成果を得た。	福祉・保育事業者指導検査事業	S': 特に積極的に取り組む。	
			61 ホームページなどにより、子育て支援ガイドブックや子育て応援サイトのキッズ、子育て応援アプリのキッズなどを周知します。【子ども政策課】	子ども政策課	継：昨年から継続して実施した。	子育て支援ガイドブック等をホームページに掲載するとともに、子育て支援ガイドブックや子育て応援サイト&アプリのチラシを妊娠届出時、出生届出時、転入届出時(子育て世帯)などに窓口で配布した。また、子育て家庭が親子で参加するイベントにおいても配布するなどし、周知に努めた。	-	A: 良い成果を得た。	-	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
			62 学童クラブに従事する職員に対する研修受講を推進し、質の向上を図ります。また、継続的な需要を踏まえ、学校の余裕教室をはじめ、公共施設などの有効活用を積極的に行うとともに、教育・保育施設における児童の預かりについても研究を行うなどして量の確保に努め、児童の健全な育成を図ります。【子ども政策課】	子ども政策課	継：昨年から継続して実施した。	学童クラブにおける質の向上として、職員に対して各種研修を行い、児童への対応について研究することで健全な育成を図った。	-	A: 良い成果を得た。	-	B': 現状維持のため継続実施。	
			63 児童館に対するニーズを的確に捉え、健全な遊びや健康な身体の育成と豊かな情操を養う児童館の事業の展開を図ります。【子ども政策課】	子ども政策課	継：昨年から継続して実施した。	各児童館において様々な教室等を実施するとともに、「幼児クラブ合同運動会」「こども芸術祭(展示の部)」等の合同行事を実施し、子どもの健全育成を図った。なお、「こども芸術祭(舞台発表の部)」については、開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を中止した。	参加人数 幼児クラブ合同運動会 68人 こども芸術祭(展示の部) 879人	A: 良い成果を得た。	-	B': 現状維持のため継続実施。	
			64 子どもへの学習支援や食事提供をはじめとした生活支援などを行うため、子どもの未来応援プロジェクトチームにおいて、子どもの総合的な支援策を検討します。【子ども政策課】	子ども政策課	継：昨年から継続して実施した。	あきる野市子どもの未来応援プロジェクトチームにおいて、子どもの総合的な支援を検討した。	あきる野市子どもの未来応援プロジェクトチーム会議 1回	A: 良い成果を得た。	-	B': 現状維持のため継続実施。	
			65 病児・病後児保育事業、乳幼児一時預かり事業、乳幼児ショートステイ事業などの利用者から意見を聴き、サービスの向上に努めます。また、サービスを必要とする家庭が確実に利用できるよう各種サービスの周知の拡充を図ります。【子ども家庭支援センター】	子ども家庭支援センター	継：昨年から継続して実施した。	仕事と育児が両立できる環境を整備した。利用者からの意見があれば、専門の保育士らと連携を図り、それぞれの事業のサービス向上に努めた。また、サービスに関する情報について、パンフレット等を窓口を設置するとともに、ホームページに掲載し周知を図った。	病児・病後児保育事業 利用者 延487名 乳幼児一時預かり事業 利用者 延685名 乳幼児ショートステイ事業 利用者 延183名	A: 良い成果を得た。	病児・病後児保育事業 乳幼児一時預かり事業 乳幼児ショートステイ事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
			66 保育サービスの質の確保及び利用者支援の向上に向けて、保育サービスの指導検査実施状況などを明らかにするとともに、施設に対し必要な助言及び指導を行います。【保育課】	保育課	継：昨年から継続して実施した。	保育事業者に対する指導検査を専門に所管する部署と情報収集や協議・調整を行い、組織改正に伴う整備を行った。また、都の主催する研修を受講し、専門的な知識及び検査技術の習得を図った。	令和元年度 実施予定 9施設 実施済み 3施設 実施中止 6施設	A: 良い成果を得た。	保育事業者指導検査事業	B': 現状維持のため継続実施。	
			67 障がい者及び難病患者が地域で安心して生活していくために、障害福祉サービスをまとめた手引きを配布します。【障がい者支援課】	障がい者支援課	継：昨年から継続して実施した。	障害福祉サービスをまとめた手引きを庁内で印刷し、対象の方に配布した。	-	A: 良い成果を得た。	-	B': 現状維持のため継続実施。	
			68 高齢者がサービスなどに関する必要な情報を得られるよう、介護サービスなどの情報発信を行います。【高齢者支援課】	高齢者支援課	継：昨年から継続して実施した。	認知症ガイドブック(認知症高齢者等への対応方法、医療機関への受診方法、介護保険サービス等の紹介)を作成し、公共施設等に設置した。	認知症ガイドブック 発行部数 3,000部	A: 良い成果を得た。	認知症地域支援・ケア向上事業	B': 現状維持のため継続実施。	
			69 心身ともに健康な親子が育つために必要なサービスを提供できるよう、サービスの情報を適切に提供します。【健康課】	健康課	継：昨年から継続して実施した。	母子健康手帳の交付時の妊婦面接、新生児訪問等で必要なサービスの紹介を行った。	母子健康手帳の交付数 453件 新生児訪問・こんにちは赤ちゃん事業 出生数 483人 訪問者数474人 訪問率98.1%	A: 良い成果を得た。	母子健康手帳の交付 新生児訪問・こんにちは赤ちゃん訪問	B': 現状維持のため継続実施。	

基本理念	基本目標	施策の展開	取組	担当課	実施段階	令和元年度の実施内容	実績値	担当課評価	事業名称 サービス名称	次年度以降 の方向性	委員会評価	
笑顔あふれる安心して暮らせる保健福祉都市をめざして	基本目標4 地域福祉を推進する人づくり	①福祉教育と情報発信の推進	70 児童・生徒の豊かな人間性を育てるとともに、自分の生き方を主体的に考える態度を育成するために、特別支援教育の推進や福祉問題の理解を図る学習を展開します。【指導室】	指導室	継：昨年から継続して実施した。	教育方針の1つである「人権尊重と社会貢献の精神を育む教育の推進」に基づき、各学校の特別支援教育の推進について、教育委員会広報誌において発信している。		A: 良い成果を得た。	特別支援教育コーディネーター連絡会 特別支援教育研修会	A': 成果上昇をめざし継続実施。		
			71 地域、保健、福祉に関する考え方や情報、活動などについて広く市民に理解を深めてもらうために、情報の収集・発信の充実、連携体制を構築します。【全課】	集約	継：昨年から継続して実施した。	福祉部署を含めた様々な部署で、福祉情報の収集・発信を、各部署や地域と連携して行った。	市広報、市ホームページ、ポスター、防災無線、防災イベント、各種講座、チラシ・パンフレットの配布など	A: 良い成果を得た。		A': 成果上昇をめざし継続実施。		
		【重点施策】 (2)人材育成の推進	①担い手の育成と支援	72 子どもたちを見守り、成長を支えるために、地域子ども育成リーダー新規認定研修会を実施し、地域子ども育成リーダーを養成します。【子ども政策課】	子ども政策課	継：昨年から継続して実施した。	地域の絆を深めるとともに、郷土愛を持った「あきる野っ子」を育てるため、大人たちの知識、経験などを生かして、それぞれの地域における子どもの安全・安心の確保と健全な育成を担うあきる野市地域子ども育成リーダーを養成した。	新規認定者数: 20人(合計186人)	B: 期待した成果を得られなかった。	地域子ども育成リーダー事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
				73 保育士不足を解消するために、処遇改善や補助制度を利用した施策を展開します。【保育課】	保育課	継：昨年から継続して実施した。	国や都が実施する、保育士等キャリアアップ事業や保育サービス推進事業補助金、保育力強化事業、保育従事職員宿舎借上支援事業等、保育施設や保育士に対する補助を行った。	令和元年度 保育士等キャリアアップ補助金 24,749,000円 保育サービス推進事業補助金 11,840,000円 保育力強化事業 2,442,000円 保育従事職員宿舎借上支援事業 18,455,000円	A: 良い成果を得た。	子ども・子育て支援事業計画	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
				74 聴覚障がいのある方が手話奉仕員・手話通訳者を利用しやすくするため、手話奉仕員・手話通訳者養成講座を開催します。【障がい者支援課】	障がい者支援課	継：昨年から継続して実施した。	手話奉仕員養成講座を開催し、手話奉仕員の養成を図った。	平成31年4月1日から令和元年9月30日 実施回数20回 1回当たりの時間2時間 受講生 初級・中級17人 上級・応用12人 令和元年10月1日から令和2年3月31日 実施回数17回 1回当たりの時間2時間 受講生 初級・中級12人 上級・応用10人	A: 良い成果を得た。	手話奉仕員養成事業	B': 現状維持のため継続実施。	
				75 総合事業(訪問型サービスA)の実施に際し、従事する介護職員を確保するため、のヘルパーなどの養成研修を実施する。予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、中止とした。また、令和2年度以降に、更なる介護人材の確保に向け、入門的研修とのヘルパーを一体的に実施できるよう、先進自治体の調査を行った。	高齢者支援課	継：昨年から継続して実施した。	総合事業(訪問型サービスA)の実施に際し、従事する介護職員を確保するため、のヘルパーなどの養成研修を実施する。予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、中止とした。また、令和2年度以降に、更なる介護人材の確保に向け、入門的研修とのヘルパーを一体的に実施できるよう、先進自治体の調査を行った。		C: 検討中、未実施、終了のため評価なし。		A': 成果上昇をめざし継続実施。	
				76 認知症の人とその家族を支える理解のある支援者の育成に向けて、認知症サポーター養成講座及び認知症サポーターステップアップ講座を開催します。【高齢者支援課】	高齢者支援課	継：昨年から継続して実施した。	認知症の人とその家族を支え、誰もが暮らしやすい地域をつくるため、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターの養成に取り組んだ。また、認知症サポーター養成講座受講者を対象に、地域で活躍していただくことを目的に、認知症サポーターステップアップ講座を開催した。高齢者を介護する家族等を対象に、適切な介護知識・技術を習得してもらうことを目的とし、介護教室を開催した。	認知症サポーター養成講座 全21回開催 延べ参加者数 1,403人 認知症サポーターステップアップ講座 全2回開催 延べ参加者数 21人 介護教室 全9回 延べ参加者数 152人	A: 良い成果を得た。	認知症サポーター養成講座	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
				77 地域において生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するために、地域の資源開発やネットワーク構築の機能を担う生活支援コーディネーターの活動について支援します。【高齢者支援課】	高齢者支援課	継：昨年から継続して実施した。	介護予防リーダー事業等に生活支援コーディネーターが参加し、地域において必要とするサービスの把握を行った。		A: 良い成果を得た。	生活支援体制整備事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	

基本理念	基本目標	施策	施策の展開	取組	担当課	実施段階	令和元年度の実施内容	実績値	担当課評価	事業名称 サービス名称	次年度以降 の方向性	委員会評価
				78 地域の中で介護予防の普及啓発や生きがいづくり、健康推進を図る活動をする人の育成に向けて、介護予防リーダー育成講座を実施します。【高齢者支援課】	高齢者支援課	継: 昨年から継続して実施した。	介護予防リーダー育成講座を開催し、健康推進を図る活動する人の育成を行った。	介護予防リーダー育成講座 開催回数 1回 参加者 15人	A: 良い成果を得た。	介護予防リーダー育成事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
				79 健康づくり市民推進委員などの育成のために、研修会や講習会の実施時期などを工夫し、参加できる機会を増やすとともに、研修会や講習会に参加することの重要性を伝えます。【健康課】	健康課	継: 昨年から継続して実施した。	健康づくり市民推進委員やめざせ健康あきる野21推進会議ボランティアメンバーを対象に研修を行うとともに、活動後は成果や課題を確認し合い人材育成に努めた。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から3月実施予定だった会議を中止した。	・健康づくり市民推進委員会 2回1延べ133人 ・めざせ健康あきる野21推進会議メンバー1回9人(チーム食生活レモン)	A: 良い成果を得た。	市民推進委員事業 めざせ健康あきる野21推進事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
				80 支える人となる人材(ゲートキーパー)を育成するために、地域で活動する団体などに対し、ゲートキーパー研修を開催します。【健康課】	健康課	検: 実施の検討をした。	「思いあい つながりあい 支えあう 笑顔あふれるまち あきる野を目指して」あきる野市自殺対策推進計画の策定のため、令和2年度以降、計画に基づき実施する。	数値表記がふさわしくない	C: 検討中、未実施、終了のため評価なし。	自殺対策事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
			② ボランティアの育成と支援	81 社会福祉協議会がボランティア活動の中心的な役割を担えるよう、社会福祉協議会に対する補助を行うとともに、社会福祉協議会の活動について情報を共有・提供します。【生活福祉課】	福祉総務課	継: 昨年から継続して実施した。	社会福祉協議会が実施する地域福祉事業、在宅福祉事業、ボランティア活動推進事業及び法人運営事業について、「あきる野市社会福祉法人に対する助成の手続きに関する条例」に基づき、経費の一部について補助を行った。また、社会福祉協議会の活動を市ホームページに掲載して周知を図った。	社会福祉協議会補助金 74,000,000円	A: 良い成果を得た。	あきる野市社会福祉協議会助成事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
				82 高齢者自身が介護予防を推進し、高齢者が地域で元気に活躍できるよう、介護支援ポイント制度のPRを行うとともに、活動内容や活動場所の拡充について協議を行います。【高齢者支援課】	高齢者支援課	始: 新たに始めた。	介護支援ポイント制度の利用者拡充のため、委託先: 社会福祉協議会と意見交換会を実施し、申請要件等について要綱も見直しを図った。	-	A: 良い成果を得た。	介護支援ボランティアポイント事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
				83 介護予防リーダー及び認知症サポーターの活動を推進するために、介護予防リーダー及び認知症サポーターの活動に対し補助金を交付します。【高齢者支援課】	高齢者支援課	継: 昨年から継続して実施した。	介護予防リーダー活動及び認知症サポーターが実施する認知症カフェへ補助金を交付した。	【介護予防リーダー活動】 補助団体 1団体 【認知症カフェ活動補助金】 補助団体 1団体	A: 良い成果を得た。	地域介護予防活動支援事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	
				84 めざせ健康あきる野21推進会議ボランティアメンバーが主体的に活動できるよう支援します。【健康課】	健康課	継: 昨年から継続して実施した。	健康増進計画 めざせ健康あきる野21(第二次)に基づき、「めざせ健康あきる野21推進会議を3班体制で行い、市民の健康づくり事業を実施した。」「PR班」では、市内のイベントでの健康に関する周知活動、「健康のつどい」で21活動紹介を行った。「ウォーキングⅡ班」では、ふれあいウォークを行い、市民の参加を得た。「チーム食生活レモン」では、市民団体などを対象に講習会を開催し、出前講座、視察研修、レシピ検討会を実施した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から3月実施予定分のふれあいウォーク(3班合同事業)を中止した。	【会議等】 ・会議 全体会議3回、各班会議8回 メンバー延べ358人、代表者会議4回 メンバー延べ35人 【ウォーキングⅡ班】 ・ふれあいウォーク6回 参加者357人 メンバー延べ111人、ふれあいウォーク実路8回 メンバー延べ98人 【チーム食生活レモン】 ・レシピ検討会 1回 メンバー12人、視察研修1回 メンバー9人、出前講座1回 参加者19人 メンバー12人、出前講座1回 参加者19人 メンバー12人 【PR班】 ・イベント等での周知活動3回 参加者1,563人 メンバー延べ26人	A: 良い成果を得た。	めざせ健康あきる野21推進事業	A': 成果上昇をめざし継続実施。	